

令和 3 年 度

第 31 回定時総会議案書

日 時 令和 3 年 6 月 24 日 (木) 午前 10 時 00 分
会 場 庄原市シルバー人材センター

 公益社団法人庄原市シルバー人材センター

シルバー人材センターの基本理念

- 【 自主 】 : 自分のものとして考える
- 【 自立 】 : 自分たちの力で育てる
- 【 共働 】 : 一緒になって働く
- 【 共助 】 : お互いに助け合う

私たちの自覚と心構え

私たちは、シルバー人材センターの活動に参加し、活力ある地域社会づくりに寄与するために、次のことを遵守します。

- 一 私たちは、働くことによる社会参加に喜びと生きがいを求めます。
- 一 私たちは、シルバー人材センター会員としての誇りを持って就業します。
- 一 私たちは、豊かな経験を生かして誠実に仕事に取り組めます。
- 一 私たちは、常に健康と安全に留意し注意力をもって就業します。
- 一 私たちは、会員相互の共働・共助を大切にして仕事の責任を果たします。
- 一 私たちは、ボランティア活動への参加やサークル活動など『できること』『できる範囲で』社会参加の更なる促進を図ります。

第 31 回定時総会次第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 功績者・永年勤続者表彰
- 4 議長選出
- 5 定足数報告
- 6 議事録署名人選出
- 7 議事
 - 議案第 1 号 令和 2 年度事業報告及び決算の承認について
(令和 2 年度監査報告)
 - 議案第 2 号 公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款の一部改正について
 - 議案第 3 号 公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について
 - 議案第 4 号 理事長に対する権限委任について
- 8 報告
 - 報告第 1 号 令和 3 年度事業計画及び収支予算等について
- 9 閉会

功績者・永年勤続者表彰

公益社団法人庄原市シルバー人材センター表彰規程に基づく第31回定時総会における表彰者名簿

功績表彰

該当者なし

勤続表彰：

センター会員 20 年表彰(平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日入会者)

1	かどの やすえ 門野 康江	口和町	4	こうち よりこ 河内 和子	西城町
2	きよみつ てつこ 清光 哲子	板橋町	5	つねしま たけお 常島 武大	高野町
3	くぼ まれと 久保 希登	比和町	6	ふじもり くんし 藤森 勲猪	本村町

センター会員 10 年表彰(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日入会者)

1	あおき よしかず 青木 義和	上原町	12	すみだ えつこ 住田 悦子	西城町
2	いかわ けいこ 井川 啓子	東城町	13	たけした ともえ 竹下 知枝	本町
3	うめだ まちこ 梅田 真知子	西城町	14	たけひさ けんじ 竹久 研児	川手町
4	おかもと たくし 岡本 拓司	上原町	15	つた さとし 薦 叡	三日市町
5	おくやま としかず 奥山 敏和	高野町	16	とだ せいじ 戸田 誠治	高野町
6	かわもと はるを 川本 春夫	水越町	17	なかむら りつこ 中村 律子	三日市町
7	きしだ さとし 岸田 訓	比和町	18	ひさもり のぶこ 久森 信子	西城町
8	くらし すずむ 倉石 進	川北町	19	ひろたに しげのぶ 広谷 重信	峰田町
9	くらさこ ともりのり 倉迫 智憲	東城町	20	まつしま たつお 松島 達男	西城町
10	さかい まさとみ 酒井 正富	板橋町	21	ゆずり かくお 杠 角雄	比和町
11	しらいし ゆくと 白石 行人	東城町	22	よこやま こうじ 横山 幸二	東城町

議案第1号

令和2年度事業報告及び決算の承認について

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款第13条第1項第5号及び第43条の規定に基づき、別紙のとおり事業報告を行い決算の承認を求める。

令和3年6月24日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター
理事長 田村 富夫

令和2年度事業報告

I 概要

内閣府の年次経済財政報告(令和2年11月)では、令和2年前半の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響や諸外国経済の停滞により大きく落ち込み、4-6月期の実質GDPはリーマンショック時を超える過去最大の減少となったものの、4、5月を底にして、感染者数の変動による経済活動の振れの中で、持ち直しの動きが続いており、感染症の拡大防止と経済社会活動の両立という困難な課題を克服するには、新型コロナウイルスの抑え込みと「新たな日常」の構築・定着が必須であるとされています。

こうした中、広島県の「緊急事態措置」発表を受け、庄原市においても新型コロナウイルスの感染拡大防止のための3つの密(密閉・密集・密接)を避けるため、イベントや各種会議が中止や延期となり、当センターにおいても定時総会の縮小開催や懇談会、講習会、研修会等の中止に加え、ボランティア活動への参加会員数は前年度を下回るなど、コロナ禍により大きな影響を受けました。

会員数については、令和2年度中の新規入会者は31名となった一方、高齢化等に伴う退会者は36名と退会者数が新規入会者数を上回ったことから425名(前年度比で5名の減少)となり、中期事業計画の目標会員数463名の達成はできませんでした。

コロナ禍の状況下ではありましたが業務実績の受注額は185,675千円で、前年対比で9,027千円の増額、5.1%増となりました。受託区分の内訳では、公共と派遣の計は14.6%伸びましたが、企業と個人及び独自の計は8.8%減少しました。

安全就業では、就業中の傷害事故は4件で、すべて草刈り作業中に発生しています。物損事故は6件発生しました。安全就業のために、作業前点検の徹底が求められます。

広報・啓発事業では、会員募集活動の地区班でのボランティア活動や「庄原シルバーの日」等を実施しました。「庄原シルバーの日」の春季はコロナにより中止となりましたが、冬季は市内のショッピングセンターでしめ飾りの販売と広報啓発活動に新たに取組みました。

地区班のボランティア活動は7件6班63名(令和元年度は14件9班136名)が活動しました。「全国統一啓発活動」については、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ屋外での活動とし、庄原市の「イベント等の開催および公共施設利用の取り扱い方針(6月24日)」に沿った内容で実施したこともあり、「全国一斉シルバーの日」への参加会員は138名(令和元年度は161名)と前年度よりも減少しました。

新型コロナウイルスの影響により、会議、研修・講習会など、多くの事業が中止、縮小となりましたが、会議や研修等への職員参加は、オンラインにより開催されたことから、実務への影響はありませんでした。

以下、令和2年度事業の実施状況を報告します。

II 事業の実施状況

1 雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、センターは高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭や民間企業、官公庁等から有償で引き受け、会員の能力や希望等に応じて請負又は委任という形態により会員に提供しました。

- (1) 官公庁の施設管理の委託を新規に受注したことから、受注額が増加しました。
- (2) 独自事業については、しめ飾りの作製販売と門松の作製設置及び年賀状の印刷、竹細工に継続して取り組みましたが、独自事業に取り組む会員の高齢化による退会により実績額は2,267千円で前年度比111千円4.7%減少しました。
- (3) 適正就業ガイドラインの説明は地区別懇談会において会員に説明されていますが、具体的な対応が急務となっています。
- (4) ホームページは適宜内容の更新に努めました。
- (5) 請負事業の令和2年度目標受注金額163,786千円に対して実績額は163,164千円99.6%でしたが、対前年比では8,847千円の増額となりました。

2 雇用による就業機会の提供

主には派遣による臨時的かつ短期的な就業機会の提供を民間事業者や官公庁から受注し会員へ提供しました。

- (1) 労働者派遣事業は、「広島県シルバー人材センター連合会庄原事務所」として、労働者派遣事業を実施しました。
 - ① 派遣事業の広報については、役員と事務局で年末年始に事業所を訪問し、引き続き派遣事業の発注をお願いしました。
 - ② 派遣就業会員の研修については、新型コロナのため開催されませんでした。
 - ③ 介護予防・日常生活支援総合事業関係への派遣については、実績がありませんでした。
 - ④ 屋内作業等の派遣事業は、新規事業の受注が拡大しています。
 - ⑤ 派遣事業の令和2年度目標受注金額22,041千円に対して実績額は20,245千円91.9%でしたが、対前年比では292千円の増額となりました。
- (2) 職業紹介事業は、雇用による就業を希望する会員に、就業機会を確保する職業紹介事業を有料で実施する事業ですが、実績はありませんでした。

3 就業に必要な知識・技能を付与するための講習等

会員の就業上必要な知識・技能を身に付けるための研修会、講習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

- (1) 安全運転講習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区懇談会と併せて中止しました。

4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

(1) 普及啓発

- ① 庄原市と連携し、会報紙「庄原シルバー」の全戸回覧を行うとともに市内の自治振興センターや行政関係施設などに配布し、市民へのシルバー活動の広報啓発に努めました。
- ② 地区班活動については、平成28年度から補助金制度を設けて活動の推進を図ってきました。令和2年度も活動の対象となった活動7件(6班)に対して約90千円を交付しました。参加会員は延63名で前年度と比べて73名減少しました。
- ③ 2月に会員募集チラシの新聞折り込み、3月に支所開所時間変更に合わせて会員募集の行政回覧を実施しました。
- ④ 令和3年3月31日の会員数は425名(対前年度比5名減)となり、第3次中期計画の令和2年度目標値463名は達成できませんでした。

(2) 安全な就業

- ① 新型コロナウイルスの影響により令和2年度の安全運転講習会は実施できませんでした。
- ② 熱中症が2件発生しました。会員の健康管理は、就業前、就業中、就業後さらには健康診断の結果やかかりつけ医の指導等を踏まえ、適切な体調管理をお願いしました。
- ③ 安全就業パトロールについては、安全委員会を中心に抜き打ちで行いましたが、保護具の着用等おおむね良好でした。
- ④ 安全就業研修については、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。
- ⑤ 令和2年度の傷害事故は4件、物損事故は6件でした。重篤事故は発生しませんでした。再発防止については、その都度、当事者などと共に事故原因の究明と防止策について協議し、安全委員会への報告や会報により会員に周知しました。

(3) 就業の開拓・拡大

- ① 新規業務の開拓については、会員、役員、事務局がそれぞれの立場、行動範囲で当センターの広報に心がけ、令和2年度では官公庁の施設管理業務の受注拡大になりました。
- ② 女性会員の増員については、前年度と比べ5名減の138名になりました。
- ③ 就業率の向上については、令和2年度の就業率目標値85.0%に対して、76.5%となりました。

(4) 相談、情報提供

- ① センターに入会を希望する高齢者に対して、毎月20日(休日の場合は翌開所日)の定期と希望者の都合に合わせて随時の入会説明会を開催しました。令和2年度には31名の新規入会者がありました。

- ② 会員の就業相談日[毎月20日(休日の場合は翌開所日)の午後]での相談実績はありませんでしたが、会員との日常の会話や随時の電話などで、就業に関する相談や就業情報の提供を行ないました。
- (5) 社会参加活動の推進では、10月の第3土曜日を「全国一斉社会奉仕活動の日」としており、市内においても7地域で社会奉仕活動を実施しました。参加会員は138名で前年度よりも23名減りました。また、地区班でのボランティア活動は、市内でのイベントの中止等もあり7件6班63名で、前年度の14件9班136名から大幅に減少しました。
- (6) 専門部会活動の充実では、各専門部会・委員会の所掌に基づき、会議を設定し協議しました。
- ① 安全就業(刈払い機)講習会や安全運転講習会等、新型コロナの影響により実施できませんでした。
- (7) 財政の安定化
- ① 受託収益や独自事業など収入の確保と人件費や管理費などの経費削減に取り組むとともに、公益法人会計の財務分析指標に基づく分析、評価を行いながら財務の安定化に努めました。
- ② 受託料金の未収金根絶を図るため、未納者へは早目に督促し、早期入金となるよう努めてきましたが、未収額は2件112,450円となりました。引き続き粘り強く未収金の徴収に努めます。
- (8) 事務局体制の充実強化では、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議や研修会が大幅に減少となりましたが、オンラインにより開催されたことから、積極的に参加し職員の知識習得やスキル向上に努めました。
- ① 事務局体制については、広域な市域をカバーするため、本所、3支所、1連絡所を継続しました。
- ② 業務の効率化と財務の健全化のため、令和4年度のシルバーシステム更新に向け特定資産取得資金の保有を今年度から行いました。
- ③ 「短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律」の施行に伴い、令和3年4月1日より、西城支所、東城支所、北部支所の開所・閉所時間を変更しました。

庄原市シルバー人材センター事業実績資料

◎年度別会員数及び就業実績状況

(単位:人)

会員状況	会員数			就業実人員実績					
	年度別	男性	女性	計	男性	就業率	女性	就業率	男女計
平成 23 年度	299	158	457	221	73.9%	132	83.5%	353	77.2%
平成 24 年度	280	133	413	225	80.4%	119	89.5%	344	83.3%
平成 25 年度	267	119	386	217	81.3%	110	92.4%	327	84.7%
平成 26 年度	275	120	395	217	78.9%	108	90.0%	325	82.3%
平成 27 年度	277	138	415	224	80.9%	105	76.1%	329	79.3%
平成 28 年度	278	133	411	236	84.9%	113	85.0%	349	84.9%
平成 29 年度	284	130	414	233	82.0%	105	80.8%	338	81.6%
平成 30 年度	294	137	431	233	79.3%	106	77.4%	339	78.7%
令和元年度	287	143	430	232	80.8%	101	70.6%	333	77.4%
令和 2 年度	287	138	425	228	79.4%	97	70.3%	325	76.5%

◎地域別シルバー会員入会状況(令和3年3月末の状況)

(単位:人)

	地区別人口	60歳以上の人口	シルバー会員数	入会率
庄原地域	17,068	7,760	181	2.33%
西城地域	3,147	1,897	59	3.11%
東城地域	7,151	3,964	68	1.72%
口和地域	1,882	1,034	26	2.51%
高野地域	1,628	950	34	3.58%
比和地域	1,262	800	50	6.25%
総領地域	1,238	667	7	1.05%
計	33,376	17,072	425	2.49%

60歳以上の人口比率 51.2%

◎地域別シルバー会員の入退会動向(令和3年3月末の状況)

(単位:人)

	前年度末 の会員数	年間異動数			今年度末 の会員数	内 訳	
		入会者数	退会者数	差引増減		男性	女性
庄原地域	200	5	24	-19	181	108	73
西城地域	60	2	3	-1	59	43	16
東城地域	60	10	2	8	68	52	16
口和地域	22	5	1	4	26	23	3
高野地域	35	2	3	-1	34	27	7
比和地域	47	5	2	3	50	29	21
総領地域	6	2	1	1	7	5	2
計	430	31	36	-5	425	287	138

◎年度別の業務実績の推移

(単位:千円)

区分 年度別	受託事業			独自事業	合計	派遣事業	SC事業+ 派遣
	公共	企業	個人				
平成23年度	69,263	49,376	58,731	706	178,076		178,076
平成24年度	62,545	35,589	59,491	936	158,561		158,561
平成25年度	59,782	28,416	59,810	1,143	149,151	6,793	155,944
平成26年度	65,452	31,048	56,771	1,618	154,889	6,252	161,141
平成27年度	71,923	29,427	52,629	1,850	155,829	8,184	164,013
平成28年度	73,529	29,060	54,898	2,047	159,534	11,004	170,538
平成29年度	73,296	27,161	52,411	2,409	155,277	14,018	169,295
平成30年度	80,391	24,295	54,641	2,587	161,914	18,368	180,282
令和元年度	85,179	21,771	47,367	2,378	156,695	19,953	176,648
令和2年度	100,222	17,074	45,867	2,267	165,430	20,245	185,675

◎令和2年度職群別の業務実績状況

区分	実績	受注件数(件)	延べ就業人員(人)	受託契約額(円)
技術群		1	34	190,883
技能群		285	1,504	11,131,262
事務群		1	1	4,950
管理群		238	6,904	52,481,077
折衝外交群		36	518	6,980,299
一般作業群		2,692	16,771	91,341,265
サービス群		20	615	3,232,550
その他		1	8	68,200
計		3,274	26,355	165,430,486

◎令和2年度地域別事業実績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

地域	区分	受託事業			独自事業	合計	派遣事業
		公共	企業	個人			
庄原	令和2年度	36,548,987	10,455,305	24,951,648	2,266,883	74,222,823	14,997,429
	令和元年度	37,364,586	11,822,979	25,134,226	2,377,840	76,699,631	13,787,839
	前年対比	97.8%	88.4%	99.3%	95.3%	96.8%	108.8%
西城	令和2年度	12,962,802	1,764,860	4,243,197		18,970,859	2,505,306
	令和元年度	12,375,165	2,998,520	5,613,098	0	20,986,783	3,336,931
	前年対比	104.7%	58.9%	75.6%		90.4%	
東城	令和2年度	18,503,797	911,570	7,154,000		26,569,367	2,713,835
	令和元年度	9,990,863	1,409,350	7,330,960	0	18,731,173	2,828,248
	前年対比	185.2%	64.7%	97.6%		141.8%	96.0%
口和	令和2年度	4,338,226	566,622	1,661,330		6,566,178	
	令和元年度	410,000	638,052	1,395,520	0	2,443,572	
	前年対比	1058.1%	88.8%	119.0%		268.7%	
高野	令和2年度	7,166,536	3,365,770	3,128,073		13,660,379	
	令和元年度	7,491,168	4,713,021	2,723,300	0	14,927,489	
	前年対比	95.7%	71.4%	114.9%		91.5%	
比和	令和2年度	16,694,604	0	4,301,570		20,996,174	28,338
	令和元年度	17,547,514	178,620	4,788,640	0	22,514,774	0
	前年対比	95.1%	0.0%	89.8%		93.3%	!
総領	令和2年度	4,007,036	10,390	427,280		4,444,706	
	令和元年度	0	10,390	381,010		391,400	
	前年対比	!	100.0%	112.1%		1135.6%	
合計	令和2年度	100,221,988	17,074,517	45,867,098	2,266,883	165,430,486	20,244,908
	令和元年度	85,179,296	21,770,932	47,366,754	2,377,840	156,694,822	19,953,018
	前年対比	117.7%	78.4%	96.8%	95.3%	105.6%	101.5%
差引増減額		15,042,692	-4,696,415	-1,499,656	-110,957	8,735,664	291,890

機関会議等開催状況及び各種活動実績

1 総会

名 称	開催年月日	主要議題
第30回定時総会	令和2年6月18日	平成31年度事業実績及び決算等の承認 平成31年度監査報告 理事長に対する権限移譲 令和2年度事業計画及び予算の報告

2 理事会及び監査

名 称	開催年月日	主要議題
監査	令和2年5月1日	平成31年度事業実績・決算監査
	令和2年8月6日	令和2年度第1四半期(4月～6月)事業会計監査
	令和2年11月4日	令和2年度第2四半期(7月～9月)事業会計監査
	令和3年2月5日	令和2年度第3四半期(10月～12月)事業会計監査
第1回理事会	令和2年5月14日	令和元年度補正予算(第3号)の承認 令和元年度事業実績報告及び決算の承認 令和元年度事業・決算にかかる監査報告ほか
第2回理事会	令和2年6月18日	理事長、副理事長及び常務理事の選定 専門部会及び専門委員会等の構成
第3回理事会	令和2年9月11日	令和2年度補正予算(第1号)の承認 令和2年度専門部会・委員会の取組み 新型コロナウイルス感染拡大防止ほか
第4回理事会	令和2年11月13日	職員給与規程の一部改正 全国統一社会奉仕活動 同一労働同一賃金ガイドラインに基づく見直し方針ほか
第5回理事会	令和3年3月16日	令和2年度特定資産取得資金の保有 令和2年度補正予算(第2号)の承認 職員就業規則の全部改正ほか

3 専門部会及び委員会

名 称	開催年月日	主要議題
総務部会	令和2年7月21日	部会長及び副部会長の選任 令和2年度の取組みほか
	令和2年10月26日	同一労働同一賃金ガイドラインに基づく見直し方針 職員就業規則の一部見直し方針ほか
	令和3年2月15日	職員就業規則等の改正ほか
事業部会 (苦情相談委員会)	令和2年7月21日	部会長及び副部会長の選任 令和2年度の取組みほか
広報委員会	中止	令和2年夏季号の構成、工程ほか
	令和2年9月11日	委員長及び副委員長の選任、

		令和2年度の取組みほか
	令和2年10月5日	令和3年新春号の構成、工程ほか
	令和2年12月16日	新春号の校正
安全委員会	令和2年7月13日	委員長及び副委員長の選任 令和2年度の取組みほか
	令和3年3月29日	事故等報告、適正就業の取組みほか

4 会議・研修等

名 称	開催年月日	主要議題
各種会議等	令和2年4月15日	北部ブロック理事長会議 安芸高田市
	令和2年6月16日	連合会第1回安全就業対策委員会 広島市
	令和2年7月15日	連合会安全パトロール 尾道市
	令和2年7月29日	第1回事務局長会議 広島市
各種研修会等	令和2年11月9日～ 令和2年11月12日	連合剪定講習会(1班) 10名参加
	令和2年11月16日～ 令和2年11月19日	連合剪定講習会(2班) 10名参加
	令和2年12月10日	こけ玉づくり 7名参加
	令和3年2月1日	適正就業担当者会議 オンライン 1名参加
	令和3年2月10日	全シ協派遣元責任者講習会 オンライン 1名参加
	令和3年3月8日	福祉家事援助サービス研修会 オンライン 1名参加
要請活動	令和2年10月12日	庄原市長支援要望 理事長ほか3名参加
		庄原市議会議長支援要望 理事長ほか3名参加
		全国シルバー統一要望書提出 理事長ほか3名参加
社会奉仕・啓発活動	令和2年10月23日	フラワー通り花植栽 2名参加
	令和2年10月17日	全国統一社会奉仕活動 7地域 138名参加
	令和2年12月25日	「庄原シルバーの日」ジョイフル しめ縄販売6名参加
	令和2年12月26日	「庄原シルバーの日」ジョイフル しめ縄販売5名参加
地区班広報活動	令和2年5月27日	西城地区班 一の宮神社前バス停花壇草刈り、集草 2名参加
	令和2年6月21日	八銚地区班 八銚農村公園草刈り、集草作業 3名参加
	令和2年6月26日	庄原地区班 庄原市役所植栽用スイセン球根掘上げ 4名参加
	令和2年7月25日	東地区班 東小学校プール周辺剪定、草刈り、集草 14名参加
	令和2年10月1日	敷信地区班 板橋小学校環境整備 16名参加
	令和2年11月18日	庄原地区班 庄原市役所花壇草取り、スイセン植栽 12名参加
	令和2年10月12日	高野地区班 市道殿垣内線～西半戸線、上高自治振興センター草刈り 12名参加
地区別懇談会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

地区班長会議		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
同好会活動 (独自事業含む)	令和2年4月3, 4日	同好会物販(椎茸ホダ木販売)
		カラオケ同好会 定期練習会の開催等
		グランドゴルフ同好会 会員交流大会等の開催
		パソコン同好会 年賀状等の受託
		園芸苔玉同好会 苔玉の制作等
		しめ飾り門松同好会 しめ飾り、門松等の製作販売
		レクリエーション同好会 旅行、吹矢練習等の開催
事務局連絡会議	手しごと同好会 手芸品の製作販売	
	令和2年4月9日	事務局職員への連絡、課題協議等
	令和2年6月6日	
	令和2年11月5日	
	令和3年2月8日	
令和3年3月25日		

【事業報告の附属明細書について】

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当年度	前年度	増減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	受託事業収益	165,430,486	156,694,822	8,735,664
5	受取配分金	134,268,485	127,665,668	6,602,817
6	受取材料費等	17,477,988	15,984,678	1,493,310
7	受取事務費	13,684,013	13,044,476	639,537
8	労働者派遣事業等受託収益	2,294,554	2,384,684	△ 90,130
9	労働者派遣事業等受託収益	2,294,554	2,384,684	△ 90,130
10	庄原市受託事業収益	500,000	500,000	0
11	庄原市受託事業収益	500,000	500,000	0
12	受取会費	463,000	479,000	△ 16,000
13	正会員受取会費	414,000	435,000	△ 21,000
14	特別会員受取会費	49,000	44,000	5,000
15	受取補助金等	35,020,670	34,815,000	205,670
16	受取連合交付金	13,739,000	13,539,000	200,000
17	受取市補助金	21,276,000	21,276,000	0
18	受取国庫助成金	5,670	0	5,670
19	受取負担金	616,520	659,580	△ 43,060
20	受取負担金	616,520	659,580	△ 43,060
21	特定資産運用益	220	259	△ 39
22	特定資産受取利息	220	259	△ 39
23	雑収益	488,746	21,314	467,432
24	受取利息	207	179	28
25	受取配当金	400	400	0
26	受取保険金	146,802	0	146,802
27	雑収益	341,337	20,735	320,602
28	経常収益計	204,814,196	195,554,659	9,259,537
29	(2) 経常費用			
30	事業費	198,490,457	191,162,406	7,328,051
31	支払配分金	134,268,485	127,665,668	6,602,817
32	支払材料費等	15,180,984	16,204,170	△ 1,023,186
33	役員報酬	592,000	576,000	16,000
34	給料手当	26,235,816	25,045,121	1,190,695
35	臨時雇賃金	462,000	450,000	12,000
36	法定福利費	4,432,193	4,728,750	△ 296,557
37	賞与引当金繰入額	2,060,986	1,848,333	212,653
38	退職給付費用	1,116,740	887,040	229,700
39	福利厚生費	55,514	38,580	16,934
40	会議費	0	12,816	△ 12,816
41	旅費交通費	22,140	157,062	△ 134,922
42	通信運搬費	1,183,704	1,021,337	162,367
43	減価償却費	2,567,866	1,504,554	1,063,312
44	什器備品費	234,300	361,089	△ 126,789
45	消耗品費	605,857	668,382	△ 62,525
46	修繕費	1,089,122	619,473	469,649
47	印刷製本費	665,231	939,899	△ 274,668
48	光熱水料費	860,469	771,077	89,392
49	賃借料	1,823,376	1,869,399	△ 46,023
50	保険料	1,514,300	1,473,090	41,210
51	諸謝金	382,247	385,500	△ 3,253
52	租税公課	380,286	816,690	△ 436,404
53	委託費	2,170,565	2,674,807	△ 504,242
54	支払手数料	56,531	49,017	7,514
55	貸倒損失	2,500	1,000	1,500
56	支払利息	37,685	60,113	△ 22,428
57	損害賠償金	176,802	0	176,802
58	雑費	312,758	333,439	△ 20,681

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当年度	前年度	増減
59	管理費	3,397,469	3,273,918	123,551
60	役員報酬	688,000	708,000	△ 20,000
61	給料手当	1,300,960	1,105,860	195,100
62	法定福利費	234,518	210,717	23,801
63	賞与引当金繰入額	117,374	115,373	2,001
64	退職給付費用	63,460	39,000	24,460
65	福利厚生費	2,518	1,420	1,098
66	会議費	0	81,584	△ 81,584
67	旅費交通費	112,615	181,265	△ 68,650
68	通信運搬費	143,456	58,739	84,717
69	減価償却費	31,265	11,723	19,542
70	消耗品費	27,374	7,961	19,413
71	印刷製本費	138,770	103,680	35,090
72	光熱水料費	71,625	62,664	8,961
73	賃借料	14,021	27,093	△ 13,072
74	諸謝金	24,000	60,000	△ 36,000
75	租税公課	25,050	21,900	3,150
76	支払負担金	268,500	268,500	0
77	委託費	46,561	70,715	△ 24,154
78	支払手数料	1,100	2,760	△ 1,660
79	貸倒損失	2,500	1,000	1,500
80	雑費	83,802	133,964	△ 50,162
81	経常費用計	201,887,926	194,436,324	7,451,602
82	評価損益等調整前当期経常増減額	2,926,270	1,118,335	1,807,935
83	当期経常増減額	2,926,270	1,118,335	1,807,935
84	2. 経常外増減の部			
85	(1) 経常外収益			
86	経常外収益計	0	0	0
87	(2) 経常外費用			
88	固定資産除却損	1	0	1
89	什器備品除却損	1	0	1
90	経常外費用計	1	0	1
91	当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
92	当期一般正味財産増減額	2,926,269	1,118,335	1,807,934
93	一般正味財産期首残高	25,382,307	24,263,972	1,118,335
94	一般正味財産期末残高	28,308,576	25,382,307	2,926,269
95	II 指定正味財産増減の部			
96	当期指定正味財産増減額	0	0	0
97	指定正味財産期首残高	0	0	0
98	指定正味財産期末残高	0	0	0
99	III 正味財産期末残高	28,308,576	25,382,307	2,926,269

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	公益目的事業会計 (シブパ-人材セカ-事業)	法人会計	内部 取引等 消去	合計
1	I 一般正味財産増減の部				
2	1. 経常増減の部				
3	(1) 経常収益				
4	受託事業収益	162,264,944	3,165,542		165,430,486
5	受取配分金	134,268,485	0		134,268,485
6	受取材料費等	17,477,988	0		17,477,988
7	受取事務費	10,518,471	3,165,542		13,684,013
8	労働者派遣事業等受託収益	2,294,554	0		2,294,554
9	労働者派遣事業等受託収益	2,294,554	0		2,294,554
10	庄原市受託事業収益	500,000	0		500,000
11	庄原市受託事業収益	500,000	0		500,000
12	受取会費	231,500	231,500		463,000
13	正会員受取会費	207,000	207,000		414,000
14	特別会員受取会費	24,500	24,500		49,000
15	受取補助金等	35,020,670	0		35,020,670
16	受取連合交付金	13,739,000	0		13,739,000
17	受取市補助金	21,276,000	0		21,276,000
18	受取国庫助成金	5,670	0		5,670
19	受取負担金	616,520	0		616,520
20	受取負担金	616,520	0		616,520
21	特定資産運用益	0	220		220
22	特定資産受取利息	0	220		220
23	雑収益	488,539	207		488,746
24	受取利息	0	207		207
25	受取配当金	400	0		400
26	受取保険金	146,802	0		146,802
27	雑収益	341,337	0		341,337
28	経常収益計	201,416,727	3,397,469		204,814,196
29	(2) 経常費用				
30	事業費	198,490,457	0		198,490,457
31	支払配分金	134,268,485	0		134,268,485
32	支払材料費等	15,180,984	0		15,180,984
33	役員報酬	592,000	0		592,000
34	給料手当	26,235,816	0		26,235,816
35	臨時雇賃金	462,000	0		462,000
36	法定福利費	4,432,193	0		4,432,193
37	賞与引当金繰入額	2,060,986	0		2,060,986
38	退職給付費用	1,116,740	0		1,116,740
39	福利厚生費	55,514	0		55,514
40	会議費	0	0		0
41	旅費交通費	22,140	0		22,140
42	通信運搬費	1,183,704	0		1,183,704
43	減価償却費	2,567,866	0		2,567,866
44	什器備品費	234,300	0		234,300
45	消耗品費	605,857	0		605,857
46	修繕費	1,089,122	0		1,089,122
47	印刷製本費	665,231	0		665,231
48	光熱水料費	860,469	0		860,469
49	賃借料	1,823,376	0		1,823,376
50	保険料	1,514,300	0		1,514,300
51	諸謝金	382,247	0		382,247
52	租税公課	380,286	0		380,286
53	委託費	2,170,565	0		2,170,565
54	支払手数料	56,531	0		56,531
55	貸倒損失	2,500	0		2,500

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	公益目的事業会計 (NPO-人材セック事業)	法人会計	内部 取引等 消去	合計
56	支払利息	37,685	0		37,685
57	損害賠償金	176,802	0		176,802
58	雑費	312,758	0		312,758
59	管理費	0	3,397,469		3,397,469
60	役員報酬	0	688,000		688,000
61	給料手当	0	1,300,960		1,300,960
62	法定福利費	0	234,518		234,518
63	退職給付費用	0	63,460		63,460
64	賞与引当金繰入額	0	117,374		117,374
65	福利厚生費	0	2,518		2,518
66	会議費	0	0		0
67	旅費交通費	0	112,615		112,615
68	通信運搬費	0	143,456		143,456
69	減価償却費	0	31,265		31,265
70	消耗品費	0	27,374		27,374
71	印刷製本費	0	138,770		138,770
72	光熱水料費	0	71,625		71,625
73	賃借料	0	14,021		14,021
74	諸謝金	0	24,000		24,000
75	租税公課	0	25,050		25,050
76	支払負担金	0	268,500		268,500
77	委託費	0	46,561		46,561
78	支払手数料	0	1,100		1,100
79	貸倒損失	0	2,500		2,500
80	雑費	0	83,802		83,802
81	経常費用計	198,490,457	3,397,469		201,887,926
82	評価損益等調整前当期経常増減額	2,926,270	0		2,926,270
83	当期経常増減額	2,926,270	0		2,926,270
84	2. 経常外増減の部				
85	(1) 経常外収益				
86	経常外収益計	0	0		0
87	(2) 経常外費用				
88	固定資産除却損	1	0		1
89	什器備品除却損	1	0		1
90	経常外費用計	1	0		1
91	当期経常外増減額	△ 1	0		△ 1
92	他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,926,269	0		2,926,269
93	他会計振替額	0	0		0
94	当期一般正味財産増減額	2,926,269	0		2,926,269
95	一般正味財産期首残高	16,186,317	9,195,990		25,382,307
96	一般正味財産期末残高	19,112,586	9,195,990		28,308,576
97	II 指定正味財産増減の部				
98	当期指定正味財産増減額	0	0		0
99	指定正味財産期首残高	0	0		0
100	指定正味財産期末残高	0	0		0
101	III 正味財産期末残高	19,112,586	9,195,990		28,308,576

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

(ア) 減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。

(イ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産について、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

(ア) 賞与引当金について、職員に対する賞与の支給に備えるため支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減およびその残高

特定資産の増減およびその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
財政運営積立資産	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
施設整備積立資産	2,200,000	0	0	2,200,000
OA機器更新積立資産	0	2,927,000	0	2,927,000
合 計	9,200,000	9,927,000	7,000,000	12,127,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
財政運営積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
施設整備積立資産	2,200,000	(0)	(2,200,000)	(0)
OA機器更新積立資産	2,927,000	(0)	(2,927,000)	(0)
合 計	12,127,000	(0)	(12,127,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	802,940	372,238	430,702
車両運搬具	13,016,993	8,678,001	4,338,992
什器備品	8,609,186	7,530,798	1,078,388
リース資産	3,748,168	2,998,536	749,632
合 計	26,177,287	19,579,573	6,597,714

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	5,739,000	5,739,000	0	-
雇用開発支援事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	8,000,000	8,000,000	0	-
庄原市シルバー人材センター事業補助金	庄原市	0	21,276,000	21,276,000	0	-
助成金						
雇用調整助成金	国	0	5,670	5,670	0	-
合 計		0	35,020,670	35,020,670	0	

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているのを省略する。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,963,706	2,178,360	1,963,706	0	2,178,360

財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金 未収金 未収会費 立替金 前払金	現金	手元保管	運転資金として	30,000
	預金	普通預金 庄原農協本店	運転資金として	2,606,023
		普通預金 庄原農協本店	運転資金として	915,360
		普通預金 広島みどり信用金庫本店	運転資金として	1,965,768
		普通預金 広島銀行庄原支店	運転資金として	4,644,863
		振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	4,211,715
		未収金	請負等の発注者に対する未収金	請負等に係る契約金額の未収分
	未収会費	会員に対する未収金	シルバー事業及び管理目的の業務に使用する会費の未収分	8,000
	立替金	庄原市三日市町20-13 教育交流教室つばさ	光熱水料費の立替え金額	27,105
前払金	保険料	令和3年度役員賠償責任保険及びシルバー人材センターボランティア保険の保険料の前払い金額	78,560	
流動資産合計				26,545,968
(固定資産)				
特定資産	財政運営積立資産	普通預金 広島みどり信用金庫本店	シルバー人材センター事業の運営資金として管理されている預金	7,000,000
	施設整備積立資産	定期預金 広島みどり信用金庫本店	施設の整備のための積立資金として管理されている預金	2,200,000
	OA機器更新積立資産	普通預金 庄原農協本店	シルバー事業に使用しているコンピューター及び周辺機器更新のための積立資金として管理されている預金	2,927,000
その他 固定資産	建物	物置 11.23㎡ほか 庄原市山内町字東山	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	430,702
	車両運搬具	いすゞ エルフ 広島400な2311ほか	共用財産であり、うち98.1%は公益目的財産としてシルバー人材センター事業の用に供し、1.9%は管理運用の用に供している	4,338,992
	什器備品	クローラーショベルほか	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	1,078,388
	預託金	リサイクル料	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	67,510
	出資金	広島みどり信用金庫本店	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	10,000
	リース資産	シルバーシステムに係る機器	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	749,632
固定資産合計				18,802,224
資産合計				45,348,192
(流動負債)				
未払金 前受金 預り金 仮受金 賞与引当金 短期リース債務	未払金	配分金211名	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払い金額	9,698,367
		支払い費用等	シルバー人材センター事業に供する費用等未払い金額	2,926,732
	前受金	請負等の発注者からの前受金	契約額の前受け金額	167,770
		正会員340名・特別会員39名	令和3年度前受会費等	910,860
	預り金	源泉所得税等	職員からの源泉所得税等預り金	294,379
	仮受金	互助会に対するもの	令和3年度の互助会の会費	2,000
	賞与引当金	職員に対するもの	職員の賞与の支払いに備えたもの	2,178,360
短期リース債務	シルバーシステムに係る機器	シルバー事業に使用しているコンピューター及び周辺機器に対するリース債務	793,978	
流動負債合計				16,972,446
(固定負債)				
	長期リース債務	シルバーシステムに係る機器	シルバー事業に使用しているコンピューター及び周辺機器に対するリース債務	67,170
固定負債合計				67,170
負債合計				17,039,616
正味財産				28,308,576

収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科 目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異
1	I 一般正味財産増減の部					
2	1. 経常増減の部					
3	(1) 経常収益					
4	受託事業収益	166,256,000	0	166,256,000	165,430,486	825,514
5	受取配分金	135,145,000	0	135,145,000	134,268,485	876,515
6	受取材料費等	17,596,000	0	17,596,000	17,477,988	118,012
7	受取事務費	13,515,000	0	13,515,000	13,684,013	△ 169,013
8	労働者派遣事業等受託収益	2,195,000	350,000	2,545,000	2,294,554	250,446
9	労働者派遣事業等受託収益	2,195,000	350,000	2,545,000	2,294,554	250,446
10	庄原市受託事業収益	500,000	0	500,000	500,000	0
11	庄原市受託事業収益	500,000	0	500,000	500,000	0
12	受取会費	490,000	0	490,000	463,000	27,000
13	正会員受取会費	440,000	0	440,000	414,000	26,000
14	特別会員受取会費	50,000	0	50,000	49,000	1,000
15	受取補助金等	35,015,000	0	35,015,000	35,020,670	△ 5,670
16	受取連合交付金	13,739,000	0	13,739,000	13,739,000	0
17	受取市補助金	21,276,000	0	21,276,000	21,276,000	0
18	受取国庫助成金	0	0	0	5,670	△ 5,670
19	受取負担金	672,000	0	672,000	616,520	55,480
20	受取負担金	672,000	0	672,000	616,520	55,480
21	受取寄付金	1,000	0	1,000	0	1,000
22	受取寄付金	1,000	0	1,000	0	1,000
23	特定資産運用益	1,000	0	1,000	220	780
24	特定資産受取利息	1,000	0	1,000	220	780
25	雑収益	28,000	490,000	518,000	488,746	29,254
26	受取利息	1,000	0	1,000	207	793
27	受取配当金	1,000	0	1,000	400	600
28	受取保険金	0	150,000	150,000	146,802	3,198
29	雑収益	26,000	340,000	366,000	341,337	24,663
30	経常収益計	205,158,000	840,000	205,998,000	204,814,196	1,183,804
31	(2) 経常費用					
32	事業費	202,461,000	289,000	202,750,000	198,490,457	4,259,543
33	支払配分金	135,145,000	0	135,145,000	134,268,485	876,515
34	支払材料費等	17,596,000	0	17,596,000	15,180,984	2,415,016
35	役員報酬	576,000	16,000	592,000	592,000	0
36	給料手当	26,046,000	300,000	26,346,000	26,235,816	110,184
37	臨時雇賃金	463,000	0	463,000	462,000	1,000
38	法定福利費	4,482,000	0	4,482,000	4,432,193	49,807
39	賞与引当金繰入額	2,030,000	50,000	2,080,000	2,060,986	19,014
40	退職給付費用	1,288,000	△ 100,000	1,188,000	1,116,740	71,260
41	福利厚生費	90,000	0	90,000	55,514	34,486
42	会議費	20,000	0	20,000	0	20,000
43	旅費交通費	208,000	△ 150,000	58,000	22,140	35,860
44	通信運搬費	1,118,000	100,000	1,218,000	1,183,704	34,296
45	減価償却費	2,538,000	31,000	2,569,000	2,567,866	1,134
46	什器備品費	300,000	0	300,000	234,300	65,700
47	消耗品費	569,000	55,000	624,000	605,857	18,143
48	修繕費	700,000	420,000	1,120,000	1,089,122	30,878
49	印刷製本費	700,000	0	700,000	665,231	34,769
50	光熱水料費	883,000	0	883,000	860,469	22,531
51	賃借料	1,853,000	0	1,853,000	1,823,376	29,624
52	保険料	1,499,000	30,000	1,529,000	1,514,300	14,700
53	諸謝金	465,000	0	465,000	382,247	82,753
54	租税公課	851,000	△ 400,000	451,000	380,286	70,714
55	委託費	2,588,000	△ 250,000	2,338,000	2,170,565	167,435
56	支払手数料	79,000	0	79,000	56,531	22,469

収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科 目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異
57	貸倒損失	0	7,000	7,000	2,500	4,500
58	支払利息	38,000	0	38,000	37,685	315
59	損害賠償金	0	180,000	180,000	176,802	3,198
60	雑費	336,000	0	336,000	312,758	23,242
61	管理費	3,674,000	368,000	4,042,000	3,397,469	644,531
62	役員報酬	816,000	△ 16,000	800,000	688,000	112,000
63	給料手当	1,137,000	300,000	1,437,000	1,300,960	136,040
64	法定福利費	207,000	50,000	257,000	234,518	22,482
65	賞与引当金繰入額	98,000	20,000	118,000	117,374	626
66	退職給付費用	58,000	10,000	68,000	63,460	4,540
67	福利厚生費	3,000	0	3,000	2,518	482
68	会議費	83,000	△ 65,000	18,000	0	18,000
69	旅費交通費	255,000	0	255,000	112,615	142,385
70	通信運搬費	108,000	42,000	150,000	143,456	6,544
71	減価償却費	32,000	0	32,000	31,265	735
72	消耗品費	34,000	0	34,000	27,374	6,626
73	印刷製本費	150,000	0	150,000	138,770	11,230
74	光熱水料費	73,000	20,000	93,000	71,625	21,375
75	賃借料	34,000	0	34,000	14,021	19,979
76	諸謝金	80,000	0	80,000	24,000	56,000
77	租税公課	36,000	0	36,000	25,050	10,950
78	支払負担金	270,000	0	270,000	268,500	1,500
79	委託費	57,000	0	57,000	46,561	10,439
80	支払手数料	5,000	0	5,000	1,100	3,900
81	貸倒損失	0	7,000	7,000	2,500	4,500
82	雑費	138,000	0	138,000	83,802	54,198
83	経常費用計	206,135,000	657,000	206,792,000	201,887,926	4,904,074
84	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 977,000	183,000	△ 794,000	2,926,270	△ 3,720,270
85	当期経常増減額	△ 977,000	183,000	△ 794,000	2,926,270	△ 3,720,270
86	2. 経常外増減の部					
87	(1) 経常外収益					
88	経常外収益計	0	0	0	0	0
89	(2) 経常外費用					
90	固定資産除却損	0	1,000	1,000	1	999
91	什器備品費除却損	0	1,000	1,000	1	999
92	経常外費用計	0	1,000	1,000	1	999
93	当期経常外増減額	0	△ 1,000	△ 1,000	△ 1	△ 999
94	当期一般正味財産増減額	△ 977,000	182,000	△ 795,000	2,926,269	△ 3,721,269
95	一般正味財産期首残高	22,878,972	2,503,335	25,382,307	25,382,307	0
96	一般正味財産期末残高	21,901,972	2,685,335	24,587,307	28,308,576	△ 3,721,269
97	II 指定正味財産増減の部					
98	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
99	指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
100	指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
101	III 正味財産期末残高	21,901,972	2,685,335	24,587,307	28,308,576	△ 3,721,269

収支計算書 (注記)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科 目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異
1	【投資活動収支の部】					
2	<投資活動収入>					
3	特定資産取崩収入	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
4	財政運営積立資産取崩収入※1	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
5	投資活動収入計	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
6	<投資活動支出>					
7	固定資産取得支出	0	231,000	231,000	231,000	0
8	什器備品購入支出	0	231,000	231,000	231,000	0
9	特定資産取得支出	7,000,000	2,927,000	9,927,000	9,927,000	0
10	財政運営積立資産取得支出※1	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
11	OA機器更新積立資産取得支出	0	2,927,000	2,927,000	2,927,000	0
12	投資活動支出計	7,000,000	3,158,000	10,158,000	10,158,000	0
13	投資活動収支差額	0	△ 3,158,000	△ 3,158,000	△ 3,158,000	0
14	【財務活動収支の部】					
15	<財務活動収入>					
16	財務活動収入計	0	0	0	0	0
17	<財務活動支出>					
18	リース資産支出	772,000	0	772,000	771,019	981
19	リース資産債務返済支出	772,000	0	772,000	771,019	981
20	財務活動支出計	772,000	0	772,000	771,019	981
21	財務活動収支差額	△ 772,000	0	△ 772,000	△ 771,019	△ 981
22	当期収支差額	△ 772,000	△ 3,158,000	△ 3,930,000	△ 3,929,019	△ 981


(※1) 財政運営積立資産は、期中に7,000,000円取崩し、期末に7,000,000円積み立てた。

監 査 報 告 書

令和3年5月10日

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター
理事長 田村 富夫 様

監 事 森 元 淳 三 

監 事 石 田 泰 則 

私たち監事は、公益社団法人庄原市シルバー人材センターの令和2年度における理事の職務の執行について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び定款第25条に基づき監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し業務執行及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

更に、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書）、財産目録及び預金通帳について確認をいたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

議案第2号

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款の一部改正について

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款の一部改正について、定款第13条第1項第4号及び第46条第1項の規定に基づき総会の議決を求める。

第1条 公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款第8条第1項第2号を削除し、第3号以下をそれぞれ1号繰り上げる。

第2条 公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款第52条第1項中「センターの公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。」を「センターの公告は、電子公告による。」に改める。

附 則

1 この改定は、議決の日より施行する。

令和3年6月24日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター
理事長 田 村 富 夫

提案理由

「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律(令和元年6月14日法律第37号)において、後見人制度又は保佐制度(民法第9条、第13条関係)の権利制限に関する規定の大部分が削除され、さらに「会社法の一部を改正する法律」(令和2年11月20日政令第325号)の施行に伴い、法人法においても役員欠格事由から成年被後見人等が削除されるとともに、成年被後見人等が役員に就任する場合の要件が追加で規定されるなどの改正がなされたことから、公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款についても所要の改正を行なおうとするものである。

また、センターの公告方法を改めるため所要の改正を行なおうとするものである。

議案第2号参考資料

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款の一部を改正する議案新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>第1章 総則</p> <p>第1条～第4条 (略)</p> <p>第2章</p> <p>第5条～第7条 (略)</p> <p>(会員の資格喪失)</p> <p>第8条 正会員、特別会員及び賛助会員が次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会したとき。</p> <hr/> <p>(2) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が解散したとき。</p> <p>(3) 1年間以上会費等を滞納したとき。</p> <p>(4) 除名されたとき。</p> <p>(5) 全ての正会員及び特別会員の同意があったとき。</p> <p>第9条～第51条(略)</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第52条 センターの公告は、<u>電子公告による</u>。</p> <hr/> <p>第53条 (略)</p> <p>附則</p> <p>この改定は、議決の日より施行する。</p>	<p>第1章 総則</p> <p>第1条～第4条 (略)</p> <p>第2章</p> <p>第5条～第7条 (略)</p> <p>(会員の資格喪失)</p> <p>第8条 正会員、特別会員及び賛助会員が次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) 退会したとき。</p> <p>(2) <u>成年被後見人又は被保佐人になったとき。</u></p> <p>(3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が解散したとき。</p> <p>(4) 1年間以上会費等を滞納したとき。</p> <p>(5) 除名されたとき。</p> <p>(6) 全ての正会員及び特別会員の同意があったとき。</p> <p>第9条～第51条(略)</p> <p>(公告の方法)</p> <p>第52条 センターの公告は、<u>主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。</u></p> <p>第53条 (略)</p> <hr/>

議案第3号

公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について

公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について、同規程第9条の規定に基づき総会の議決を求める。

- 第1条 第3条第3項中、「職員給与規程」を「短時間勤務任用職員等就業規則」に改める。
- 2 第4条第2項中「職員給与規程第6条別表第1「基本給表」のうちから、理事長が理事会の承認を得て、決めるものとする。」を「短時間勤務任用職員等就業規則の定めるところによる。」に改める。
- 3 第3項中「退職手当支給規程に定める算式により算出される額とする。」を「短時間勤務任用職員等就業規則に定めるところによる。」に改め第4項を削除する。
- 4 第5条中「職員給与規程第4条を準用するものとする。」を「職員就業規則第45条に定めるところによる。」に改める。
- 5 第7条第4項中「第1項」を「第2項」に改める。

附 則

- 1 この改定は、議決の日より施行する。

令和3年6月24日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター
理事長 田 村 富 夫

提案理由

「短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律」が令和2年4月1日に施行されたことに伴い、公益社団法人庄原市シルバー人材センター短時間勤務任用職員等就業規則(令和3年4月1日施行)を定め、また公益社団法人庄原市シルバー人材センター職員就業規則を全部改正(令和3年4月1日施行)したことから、公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程について、所要の改正を行なおうとするものである。

議案第3号参考資料

公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する議案新旧対照表

改 正 案	現 案 行
<p>(報酬等の支給)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>3 常勤役員のうち、職員兼役員の場合は、職員として<u>短時間勤務任用職員等就業規則</u>を適用し、この規程を適用しない。 (略)</p> <p>(報酬等の額の決定)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 職員兼役員の報酬月額は、<u>短時間勤務任用職員等就業規則の定めるところによる。</u></p> <p>3 職員兼役員に対する退職手当は、<u>短時間勤務任用職員等就業規則に定めるところによる。</u></p> <p>(報酬等の支給日)</p> <p>第5条 常勤役員の報酬は、年間報酬額を定める場合を含め、月額をもって支給するものとし、支給日は<u>職員就業規則第45条に定めるところによる。</u></p> <p>(費用)</p> <p>第7条</p> <p>4 <u>第2項</u>の費用については、常勤役員には支給しないものとし、市外の会議等の出席については、別に定める旅費規程により支給するものとする。 (略)</p> <p>附則</p> <p>この改定は、議決の日より施行する。</p>	<p>(報酬等の支給)</p> <p>第3条 (略)</p> <p>3 常勤役員のうち、職員兼役員の場合は、職員として<u>職員給与規程</u>を適用し、この規程を適用しない。 (略)</p> <p>(報酬等の額の決定)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 職員兼役員の報酬月額は、<u>職員給与規程第6条別表第1「基本給表」のうちから、理事長が理事会の承認を得て、決めるものとする。</u></p> <p>3 職員兼役員に対する退職手当は、<u>職員退職手当支給規程に定める算式により算出される額とする。</u></p> <p>4 <u>退職金は、役員として円満に勤務し、かつ辞任又は死亡により退任した者に支給するものとし、死亡により退任した者については、その遺族に支払うものとする。</u></p> <p>(報酬等の支給日)</p> <p>第5条 常勤役員の報酬は、年間報酬額を定める場合を含め、月額をもって支給するものとし、支給日は<u>職員給与規程第4条を準用するものとする。</u></p> <p>(費用)</p> <p>第7条</p> <p>4 <u>第1項</u>の費用については、常勤役員には支給しないものとし、市外の会議等の出席については、別に定める旅費規程により支給するものとする。 (略)</p>

議案第4号

理事長に対する権限委任について

総会の議決のうち、次に該当する軽微な字句修正等の権限を理事長に委任することについて、総会の承認を求める。

- 1 会員の権利義務に関しない軽微な字句修正並びに違算又は誤字の修正
- 2 行政庁の指示による修正

令和3年6月24日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター
理事長 田 村 富 夫

令和3年度事業計画

I 基本方針

新型コロナウイルスは、一昨年12月に中国武漢において感染発生が報告され、瞬く間に世界中に感染が拡大し、我が国においても昨年1月に国内初の感染者が確認されて以降感染拡大が続き、3月には東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定される事態となるなど、人の往来、生活、経済などに極めて深刻な影響と混乱をきたしました。

新型コロナ感染症は、これまでの社会の価値観や、人々の行動様式を大きく変容させており、「新たな日常」の下で、当センターの総会ほか、新年互例会、研修旅行などの同好会活動、「庄原シルバーの日」等の啓発活動、意見交換の機会である地区懇談会など、感染拡大防止のため会議や事業の多くを中止あるいは縮小せざるを得ない1年となりました。

庄原市の人口は令和3年1月末で34,145人、高齢化率43.3%で昨年1月末対比では人口は643人、1.85%の減、高齢化率は0.5%の増となり、市内旧市町のうち3地域は2人に1人以上が65歳以上の高齢者の地域となっており、シルバー人材センターの基本理念(自主・自立・共働・共助)に基づく役割は、一層重要になっています。

現下の状況では、ワクチンへの期待は高まるもののコロナ禍の収束も当分の間は厳しいものと想定されていることから、引き続き感染拡大防止対策に努めつつ、当センターに寄せられる期待に最大限応えるため、庄原市シルバー人材センター第3期中期計画に基づき、会員拡大、就業の開拓、安全就業、適正就業等の目標達成に向け会員、役員、職員が一体となり着実に取り組みを進めます。

II 事業計画

1 雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、会員の能力、希望等に応じて請負又は委任という形態により提供します。

- (1) 適正就業ガイドラインに沿い業務の見積と契約締結、完了確認を徹底することで、トラブルの防止と発注者とセンター、就業者の信頼関係の構築を進めます。また、迅速、丁寧、高品質の業務を行うことで顧客の満足度向上に取り組みます。

- (2) 会員の発案、提案によるしめ縄、門松、熊手、年賀状印刷、ほだ木植菌作業など冬季間の就業の場の確保に加え、新たな取組みについても検討を行います。
- (3) 業務の受注拡大に向けホームページを充実するとともに、受注と会員の就業ニーズを更新しデータベース化することでマッチングの効率化と早期就業につなげます。
- (4) 令和4年3月31日の雇用によらない就業事業受注金額目標：167,867千円
(令和元年度の実績：156,695千円)

2 雇用による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、以下の事業により雇用による臨時的かつ短期的な就業機会の提供を行います。

(1) 労働者派遣事業

労働者派遣事業を実施する広島県シルバー人材センター連合会の庄原事務所として、会員に雇用による就業の機会を提供し、多様な働き方を推進します。

- ① 役員、会員、事務局が、それぞれの立場とそれぞれが可能な範囲で市内事業所訪問など、労働者派遣事業の広報啓発を行います。また、市内事業所へのDMの送付やホームページを充実し受注を促進します。
- ② 派遣就業会員はキャリアアップ研修会等へ積極的に参加し、就業に必要な知識の習得を図ります。
- ③ 介護予防・日常生活支援総合事業への派遣事業での参入に取り組みます。
- ④ 就業率の向上を図るため屋内作業等軽作業の開拓に取り組みます。
- ⑤ 令和4年3月31日の雇用による就業事業受注金額目標：20,950千円
(令和元年度の実績：19,953千円)

(2) 職業紹介事業

雇用による就業を希望する高齢者に、就業機会を確保する職業紹介事業を有料で実施するとともに、当該事業推進のため職員の資質向上を図ります。

3 就業に必要な知識・技能を付与するための講習等

就業上必要な知識・技能を身に付けることで就業の拡大に結び付けるとともに、スキルアップすることでより広い就業分野での仕事の確保と多様な仕事の提供につながるよう取り組みます。

- (1) 広島県シルバー人材センター連合会が実施する研修会等を積極的に活用し、会員のスキル向上を図ります。
- (2) 当センター内部での研修会等を実施することで、知識・技能のレベルアップを図ります。
- (3) 毎年度実施していましたが安全運転講習と安全就業講習は、新型コロナウイルス感染防止のため昨年度は実施できませんでしたが、開催に当たっては会員の参加率を高めることで事故の防止を図ります。

4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

(1) 普及啓発

- ① 本所、支所での新規入会説明会と就業相談会の定期(毎月20日)開催の継続に加え、中途入会者の会費等の減額について検討します。
- ② 会報「庄原シルバー」の内容の充実と年2回発行及び市内全戸回覧と公共施設への配布を継続します。
- ③ 会員募集の新聞折込みやホームページの充実のほか、オンライン説明会や市広報等有料広告について検討をします。

(2) 安全・適正就業の推進

- ① 安全就業講習会での安全就業基準の周知徹底と確実な励行を進めます。
- ② 安全チェック表を用いた就業前ミーティングによる危険予知、安全確認の徹底に取り組みます。
- ③ 安全装備の適正な着用や使用、会員間の声掛け、正確な合図と連携を進めます。
- ④ 就業前、就業中、就業後の体調管理や適切な作業時間の設定、判断に努めます。
- ⑤ 事故発生の原因分析と原因分析に基づく再発防止策の策定と徹底に取り組みます。
- ⑥ 安全運転講習会等への参加と安全運転の徹底を図ります。
- ⑦ 健診受診による健康状態の把握、自己の健康管理に努めます。
- ⑧ 「安全だより」の定期的発行による啓発、安全パトロールの効果的な実施と「安全の日」について検討します。
- ⑨ 適正就業ガイドラインの遵守を徹底するため、職域班の組織率向上と役割の周知を図ります。
- ⑩ 令和4年3月31日の傷害事故目標：0件(令和元年度の傷害事故発生件数：8件)
令和4年3月31日の物損事故目標：0件(令和元年度の物損事故発生件数：0件)

(3) 就業の開拓・拡大

- ① 会員、役員及び事務局がそれぞれの立場や活動範囲で新規業務の開拓に努めます。また、就業拡大のため作業機械の導入を検討します。
 - ② 介護保険制度改正に伴う家事援助等の発注に対応できるよう会員の増員を進め、技能向上のため講習等の受講を推進します。
 - ③ 会員の意識調査を基に、受注した仕事の早期就業を図ります。
 - ④ 高度な技術に対応できる体制づくりのため、研修・研究活動を支援します。
 - ⑤ 就業を開拓・拡大し、就業率の向上に努めます。
- 令和4年3月31日の会員就業率目標：85%(令和元年度の会員実績：77.4%)

(4) 相談、情報提供

- ① 入会を希望する高齢者に対して、毎月20日(休日の場合は翌開所日)に入会説明会を実施します。また、定期の日程が難しい入会希望者には随時説明を実施します。
- ② 毎月20日(休日の場合は翌開所日)午後からは、会員就業相談日として会員のための就業相談と情報提供を行います。
- ③ 令和4年3月31日の会員目標：489人(令和元年度の実績：430人)

(5) 社会参加活動の推進

地域社会への貢献とシルバー活動の普及・啓発のため、地区班でのボランティア活動を実施するとともに、全国統一社会奉仕活動における公共施設等の環境整備を継続して実施します。

5 法人活動と事務局機能の強化

(1) 専門部会活動の充実

専門部会・委員会の活動役割を再確認し、専門部会活動の充実を図ります。

(2) 財政の安定化

- ① 会員、役員及び事務局は、常に業務執行の効率化と運営コストの削減に努めます。特に、国や市の補助金は、それぞれ厳しい財政状況から算定方式の見直しや補助額の定率削減など今後とも厳しい状況が続くことが予測されることから、受託収益や独自事業など収入の確保と人件費や管理費などの経費削減に取り組みます。
- ② 受託料金の未収金根絶を図るため、見積の提示と受託契約の締結を実行するとともに滞納者へは早目に催促し、早期入金となるよう努めます。
- ③ 公益法人会計の財務分析指標に基づき分析、評価を行い予算編成や予算執行、事業実施の適正化に取り組みます。

(3) 事務局体制の充実強化

- ① 本センターの活動区域は広大であることから、シルバー業務を円滑に推進するための拠点として、現行の事務局体制(本所、3支所、1連絡所)を継続します。
- ② 職員は、シルバー業務全般の理解を深めるとともに、関係知識の習得のため各種研修会等に参加し資質の向上を図ります。
- ③ 職員は、事務分掌に基づく事務執行や厳しい財政状況を踏まえ事務局機能の効率化を図るとともに、令和2年度に見直した職員就業規則を遵守するとともに。財務規程や事務規程等の見直しにより更なる適正な事務執行に努めます。

収 支 予 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	受託事業収益	167,867	166,256	1,611
5	受取配分金	136,450	135,145	1,305
6	受取材料費等	17,772	17,596	176
7	受取事務費	13,645	13,515	130
8	労働者派遣事業等受託収益	2,270	2,195	75
9	労働者派遣事業等受託収益	2,270	2,195	75
10	庄原市受託事業収益	500	500	0
11	庄原市受託事業収益	500	500	0
12	受取会費	500	490	10
13	正会員受取会費	450	440	10
14	特別会員受取会費	50	50	0
15	受取補助金等	40,115	35,015	5,100
16	受取連合交付金	18,839	13,739	5,100
17	受取市補助金	21,276	21,276	0
18	受取負担金	687	672	15
19	受取負担金	687	672	15
20	受取寄付金	1	1	0
21	受取寄付金	1	1	0
22	特定資産運用益	1	1	0
23	特定資産受取利息	1	1	0
24	雑収益	62	28	34
25	受取利息	1	1	0
26	受取配当金	1	1	0
27	雑収益	60	26	34
28	経常収益計	212,003	205,158	6,845
29	(2) 経常費用			
30	事業費	208,524	202,461	6,063
31	支払配分金	136,450	135,145	1,305
32	支払材料費等	16,600	17,596	△ 996
33	役員報酬	576	576	0
34	給料手当	29,543	26,046	3,497
35	臨時雇賃金	466	463	3
36	法定福利費	4,769	4,482	287
37	賞与引当金繰入額	2,278	2,030	248
38	退職給付費用	1,376	1,288	88
39	福利厚生費	177	90	87
40	会議費	26	20	6
41	旅費交通費	263	208	55
42	通信運搬費	1,414	1,118	296
43	減価償却費	2,541	2,538	3
44	什器備品費	300	300	0
45	消耗品費	601	569	32
46	修繕費	1,070	700	370
47	印刷製本費	1,011	700	311
48	光熱水料費	925	883	42
49	賃借料	1,885	1,853	32
50	保険料	1,444	1,499	△ 55
51	諸謝金	463	465	△ 2

収 支 予 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
52	租税公課	1,151	851	300
53	委託費	2,705	2,588	117
54	支払手数料	79	79	0
55	貸倒損失	13	0	13
56	支払利息	15	38	△ 23
57	雑費	383	336	47
58	管理費	3,479	3,674	△ 195
59	役員報酬	712	816	△ 104
60	給料手当	855	1,137	△ 282
61	法定福利費	157	207	△ 50
62	賞与引当金繰入額	74	98	△ 24
63	退職給付費用	52	58	△ 6
64	福利厚生費	5	3	2
65	会議費	91	83	8
66	旅費交通費	299	255	44
67	通信運搬費	205	108	97
68	減価償却費	31	32	△ 1
69	消耗品費	50	34	16
70	印刷製本費	180	150	30
71	光熱水料費	81	73	8
72	賃借料	15	34	△ 19
73	諸謝金	132	80	52
74	租税公課	36	36	0
75	支払負担金	270	270	0
76	委託費	61	57	4
77	支払手数料	5	5	0
78	貸倒損失	13	0	13
79	雑費	155	138	17
80	経常費用計	212,003	206,135	5,868
81	評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 977	977
82	当期経常増減額	0	△ 977	977
83	2. 経常外増減の部			
84	(1) 経常外収益			
85	経常外収益計	0	0	0
86	(2) 経常外費用			
87	経常外費用計	0	0	0
88	当期経常外増減額	0	0	0
89	当期一般正味財産増減額	0	△ 977	977
90	一般正味財産期首残高	25,382	22,879	2,503
91	一般正味財産期末残高	25,382	21,902	3,480
92	II 指定正味財産増減の部			
93	当期指定正味財産増減額	0	0	0
94	指定正味財産期首残高	0	0	0
95	指定正味財産期末残高	0	0	0
96	III 正味財産期末残高	25,382	21,902	3,480

収 支 予 算 書 (注記)

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
1	【投資活動収支の部】			
2	＜投資活動収入＞			
3	特定資産取崩収入	7,000	7,000	0
4	財政運営積立資産取崩収入	7,000	7,000	0
5	投資活動収入計	7,000	7,000	0
6	＜投資活動支出＞			
7	固定資産取得支出	284	0	284
8	什器備品購入支出	284	0	284
9	特定資産取得支出	9,066	7,000	2,066
10	財政運営積立資産取得支出	7,000	7,000	0
11	○A機器更新積立資産取得支出	2,066	0	2,066
12	投資活動支出計	9,350	7,000	2,350
13	投資活動収支差額	△ 2,350	0	△ 2,350
14	【財務活動収支の部】			
15	＜財務活動収入＞			
16	財務活動収入計	0	0	0
17	＜財務活動支出＞			
18	リース資産支出	794	772	22
19	リース資産債務返済支出	794	772	22
20	財務活動支出計	794	772	22
21	財務活動収支差額	△ 794	△ 772	△ 22
22	当期収支差額	△ 3,144	△ 772	△ 2,372

令和3年度資金調達及び設備投資の見込み

(1) 資金調達の見込み

借入れ予定の有無		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
事業番号	借入れ先	金額(限度額)	使途
-	-	-	-

(2) 設備投資の見込み

設備投資予定の有無		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
事業番号	計画内容	支出又は収入予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
-	-	-	-

庄原市シルバー人材センター

会員スローガン

◎ 明るく 楽しく 元気よく

今日も一日社会貢献

小池 毅司 作 (本村町)

安全就業スローガン

◎ いつまでも 若いと思うな 事故のもと

松崎 孝 作 (西城町)

◎ 気を抜くな これくらいならと

思う心がミスのもと

宮脇 みつ江 作 (春田町)

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター https://webc.sjc.ne.jp/syobara/	
○本所 庄原市田園文化センター 道路向かい南側	〒727-0021 庄原市三日市町 20 番地 13 TEL:0824-72-1135 FAX:0824-72-8733 E-mail : syobara@sjc.ne.jp
○西城支所 西城町保健福祉総合センター しあわせ館内	〒729-5742 庄原市西城町中野 1339 TEL:0824-82-3005 FAX:0824-82-2223
○東城支所 庄原市役所東城支所内	〒729-5121 庄原市東城町川東1175 TEL:08477-2-4948 FAX:08477-3-0051 E-mail : tj-syobara@sjc.ne.jp
○北部支所 比和ふれあいセンター内	〒727-0301 庄原市比和町比和 792 TEL:0824-85-2359 FAX:兼用 E-mail : hk-syobara@sjc.ne.jp
○総領連絡所 甲下 肇宅内	〒729-3702 庄原市総領町亀谷 116-1 TEL:0824-88-2942 FAX: 兼用

シルバー人材センター



庄原シルバー **3** つのよろこび

- 健康である よろこび
- 就業できる よろこび
- 感謝される よろこび